



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために



国際ロータリー第2610地区  
南砺ロータリークラブ

クラブ会報 **なんと**

NO. 2531

URL <http://www.nanto-rc.jp>

E-mail [office@nanto-rc.jp](mailto:office@nanto-rc.jp)

例会日/火曜日 12:30点鐘 例会場/富山銀行福光支店4階 ◆事務局/富山県南砺市福光7336-4 ふくみつ光房内 ☎ 0763-53-1333 FAX 53-1334

撮影 写真同好会 中田裕一会員



「瀬戸内海の夕日」

**第2590回例会 令和3年10月26日(火) 晴14℃**

- ◆点 鐘 12:30 北島芳信会長
- ◆司 会 谷村修基副SAA
- ◆ソング 「我等の生業」
- ◆ゲスト 大島 孝様 (株)福島測設 代表取締役  
坂田智子先生 富山県立となみ総合支援学校



**◆会長の時間 北島芳信会長**

皆様今日は。本日もご参加ありがとうございます。後ほど改めてご紹介がありますが、今日は(元福光町議会議員・(株)福島測設代表)大島孝様をお迎えいたしました。大島様には当初9月14日の例会にて卓話をいただく予定でしたが、コロナ感染のあまりの急拡大があって延期をお願いしておりました。そして今回改めてお越しいただきましたことは誠にありがたく深く感謝申し上げます。

さて衆院選の最中であって、選挙運動に関わりのある方々には大変お忙しいことと存じます。誠に重要な活動でありませんが、お体にも差し障りが無いようお祈り申し上げます。

ところで、近頃は与党代議士にも選挙や法案に関連して贈収賄を行うという民主主義の根幹を揺るがすような不届き者が出まして、大変に情けないことだと思います。また、現在の選挙公報においては与野党そろって「分配」といって子供の目前に飴玉を見せるような事をやっておりますが、これは企業から家計への所得移転となり、個人消費には少々の追い風になるかもしれませんが、経済全体の規模が増えるわけではないので、原材料や部品の異常高騰も相まって企業の収益環境は著しく悪化する虞があります。アフターコロナ景気対策等、事前の期待感も強いことによけい質が悪いでしょう。

こういう時に、ひとつはロータリー倫理訓の一例としてかの昭和3年大連宣言の一節「自らを利するに先立ちて他を益せむことを願う。最も能く奉仕する者最も多く満たされるべきことを吾人は疑わず。」などといったことを再認識、あるいは本例会のように松村謙三先生についてのお話を聞き、また他で語り合うようなことはとても有意義であると思えます。

**◆幹事報告 吉田 実幹事**

- ①G事務所より、10/22の日本経済新聞に日本のロータリー100周年を記念し、RI理事辰野克彦氏がロータリーを紹介している記事の案内。ロータリーの更なる発展を目指して、実行委員会が中心となりアピール掲載した。とある。
- ②12月8日(水)15:00オンライン配信 第50回ロータリー研究会記念講演会「ポストコロナの生命哲学」⇒
- ③高岡西、小矢部中RCより例会変更の案内



**◆就業体験受入のご依頼**

富山県立となみ総合支援学校  
進路指導主事 坂田智子先生

本日はお時間をとっていただきありがとうございます。ごさいます。

となみ総合支援学校は南砺市利波河に在ります特別支援学校で、小学部・中学部・高等部の3つの学部があり、主に知的障害のある生徒が在籍しています。過去3年間の進路状況は、卒業生55人中17人、約3割の生徒が企業に就職しています。北陸LIXILさんでは、製造ラインに入っている仕事、コマツNTCさんでは、パソコン入力などの事務業、ゆめつづりさんでは厨房内でのお仕事、柿里商店さんでは製麺作り、その他福祉施設での清掃やスタッフさんの補助など、いろいろな業種に就職しています。企業就職以外の生徒は福祉サービス事業所を利用しながら就労を目指す生徒などその子にあわせた進路となります。

高等部では、そういった卒業後の社会的・職業的自立に向けた力を養うため、事業所で実際に働く体験を行う、就業体験(いわゆるインターンシップ)を、年2回実施しています。体験する生徒は高等部2年生と3年生です。

就業体験を実際に行う前には私たち教員が出向いて、会社の中でできる仕事は何か相談させていただきまし、体験中も教員が巡回指導に出向きます。

就業体験は、生徒たちにとって、働くためにどんな力が必要なのか、自分には何が足りないのかまたはどんな力が身につけているのかといったことを事業所の方から教えていただいたり、自分に向いている仕事を考えたりする機会となります。たとえ卒業後すぐの就職につながらなくても、会社で働いた経験を胸に抱き、卒業後も就労を目指しながら生活する生徒もいます。このように、就業体験は子ども達にとって、自分の進路だけでなく、将来の夢や目標を抱くことのできる機会でもあります。南砺ロータリークラブ様のお力をお借りして、障害のあるお子さんに、企業や会社で働く、という体験をする機会を与えていただければと思っています。

来年度の就業体験に向けて、企業様の近くに住む就職を希望する生徒の体験をお願いするために、私坂田がお電話させていただくこともあるかもしれません。またどうぞ、ご協力のほど、よろしく願いいたします。本日はこのような機会を与えていただき、ありがとうございました。



**本日のプログラム 11月2日(火) 第2591回例会**  
《R財団セミナー》卓話：財団カウンセラー 岡部一輝PG  
担当 ロータリー財団委員会 大西正芳委員長

**◆出席報告 木村伊徳副委員長**

| 会員数         | 10月26日出席率       | 10月12日(未修正)          |
|-------------|-----------------|----------------------|
| 44<br>(免除0) | 63.63%<br>(欠16) | 65.91%<br>(欠15・マーク?) |

**次回の予定 11月9日(火) 第2592回例会**  
通常例会・卓話  
担当 武田慎一会員





みなさん、こんにちは。私、松村先生の伝記の上巻を持ってきました。櫻田會の当時の理事長さんが書かれた序文、これがもう正に松村謙三先生のその心を表した文書でございませぬ。そこで読んでみますと「古今東西いずれの時といずれの国を問わず、政治家に不可欠の条件はまず国民の信を得ることである」こう書いてあります。我々人間はお互い様、人様の信を得る、お互いに信じ合うということが最も大切なんだ、それをしっかりと持っておられたのが松村謙三先生なんだ、こういった事です。「この事は永遠にしてかつ不変の真理であります」このように書いておられます。「歴史は移る、政治の世界もまた同じく一刻の停滞を許されない、時流に乗って宰相、総理大臣になる論旨を帯びる者もあれば、不運にしてその機に恵まれない者もある、これは一つに運命のいたずらし足らしめる所であって、政治家個人としての優劣には何の関係もない」その通りです。「要はその人の一挙一動が国民の信頼を得られるか、またいかなる感銘を与えるかであって、ひいてはその事人類の幸福と世界の平和に貢献する事になるのであります。」これはルーターの考えと同じですね。先ほど、北島会長からも今の政界の話がございましたが、松村先生の行われた事と北島会長が例を取り上げられた話と比べますと、矢張り今の政治には不審が残っている、これではイカン、と思います。だからこそこの時に松村精神を皆さんに聞いて戴きたい、という思いでここに立たせて戴きました。「松村謙三先生は実に真(まこと)の人であった。先生没後の今日既に28年の歳月(1999年当時)を経たが、直接先生にお会いした者は勿論、伝え聞いて先生の遺徳を慕う者数知れず、特に隣国中国を始め、諸外国の間にも先生の偉業を研究する者が多いと言う。この事からも政治家松村の存在がいかに大きかったかを知る事ができる。」また、「先生の政界浄化に対しての徹底した考えである、世のひんしゅくを買う原因は政治家が金を欲しがる事である。元来、国会議員たる者の天職は国家国民への奉仕でなければならぬ。先生は政界進出を決意した時から一切の経済的行為を絶ったと語っておられるが、その心情は終始揺らぐ事が無かった。対外関係においては日中友好の大動脈に起死回生の血脈を注ぎ込んだ献身的努力をしなければならぬ。故周恩来首相と先生との友情と信頼とは日中兩國の間に夜明けを告げた大鐘である。しかも幾多の迫害を受けつつも断固これを排除し、自己の信念を貫き通したのである。まさに政治家の龜鑑というべきである。」ということでした。

松村謙三先生は本当に人に信じられる、また人を信じるこういった方であったと思います。それでは私の、松村先生とのいろいろ教えていただいたことをお話しさせて戴きたいと思ひます。私は農林省の農業保険課に5年8ヶ月いました。在職中、学校を卒業後農地局の設計課に4年間おりました。それでその間、昭和34年、松村先生は総裁選に出られました。すると、私農林省に移って1年目だったのですが、若い連中が「お前の故郷の男は凄いなあ」って言う訳です。昭和44年、福光本町の石崎さんが松村先生の議員会館に連れて行ってくれたのです。その時の筆頭秘書が田川誠一さんで、「うちの親父に何も言わないで入ったやつはお前だけだ」と怒られた思い出があります。それからずっと議員会館へ行って松村先生とお話しをさせて戴き、その時に先生はどんな話をされたかということ、まず我々の仲間が一番最初にやったのは**食糧管理法**。農家、農民を守る、ということは国の食料を守る、ということなんです。今の言葉で言うと食料安保ですね。以前は米をみんな商人が青田買いしてしまっ、それで作物がとれない時は子供を売らなければならぬ、特に東北地方は冷害があり、無残な状態であった、だから商人に米の値段を決めさせてはだめだ、ということで**配給米**にした。その当時で(例えば)米一俵一万円で政府が買い、消費者に6千円で売ったんです。それで食糧庁は毎年赤字です。戦後で大変な時期、国民がそれだけの価格で買う力が無く、国が面倒を見たのです。6割の価格で消費者が米を買うことができたので工場も動き、商売もうまくいったんです。悪徳商人が米の市場に入れなくなりました。これが一つ、もう一つ大事なことは松村先生が行われた**農地改革**です。この本に書かれていますが、松村先生も地主だったんです。田んぼの草取りを小作人にやって貰ったのですが、田んぼの真ん中に一升瓶を置いたのに誰もとってこない、畦の辺りだけざっと草を取ってみんな帰ってしまう、それでは米を沢山取れる訳がない。でも実際に田んぼを耕す人は朝は朝星、夜は夜星、昼はウメボシを戴いて一生懸命働いて一粒でも沢山米を作る。そのような農民を信頼され、小作人に農地を分ける事をしました。これが農地改革です。これは農民を守り、国民の食糧を守ったんです。この考えが最後まで続くんです。その精神を知っている私は今、農家、農業が今年の米で農協から渡すお金じゃ出来ない、労賃どころか機械損料もでない、労働賃金さえゼロです。何がそうさせたのか?配給米から自主流通米に変えた、ここから始まったんです。農林省が米の値段を決めるのでなく、別の人が決めちゃうんです。私が松村先生の所に行っていた時、河野一郎農林大臣から先生の所に「自主流通米なんかかなりませんか」と電話が掛かって事がありました。そうしたら、松村先生は「ばかもん、何を言ってるか!日本の食料をどうするんだ!」と怒って言うんです。そして私に「おい、お前の親父が今ここに来ると言うから帰るとれ」と言われるので農林省に帰りました。また、その時言われたのが確か「俺の目の黒いうちは自主流通米は認めない、やっちゃイカン」というこ

とでした。しかし昭和44年から自主流通米が行われるようになった。松村先生が引退される時でした。河野一郎さんは農林大臣の時、毎年赤字になるのが敵わんのです。だから自主流通米という美味しい米を作ったんです。配給米は3割、そんな時もあった。昔、富山でカワサキという闇食料業者がいたんですが、闇米は食品管理法違反で裁判にかけるといって、裁判にかけてくれと本人が言うんです。現実に配給米が3割しかないのに食糧法違反に問えることが本当に出来るのか、ということがありました。そんなおかしな状況が続いたことで松村謙三先生が、農家が育たない、農民が去っていくと大変心配しておられました。今どうですか。あちこちで農地が遊んでますよ。だから、そういった松村精神を取り戻して欲しい、要するに農民、農家を守る、国の食糧を守ることです。これをどのようにして守れば良いか、これを研究して欲しい。松村謙三先生はそういった事で色々やった。食糧管理法と農地改革に、そして私はその頃農業保険課にいたんですが**農業災害保証**をやりました。普通の商業保険の4分の1の掛金で、何かあった時何十倍のお金が貰えます。日本の国は亜熱帯地方から亜寒帯まであります。松村先生は「モンスーン気候で台風や大雨があり、東北では「やませ」で冷たい風が入ってくる、亜熱帯で作る米を亜寒帯で作ってるんだから災害があるのは当たり前だ」と言っています。田、米、麦、果樹にも、野菜にも、みんな保険が掛かっています。それは3割以上の減収があれば次再生産出来るお金を補償し、農業を続けて頂く、そういう保険なんです。「おまえはそこで仕事してるんだから、自信を持って仕事しなさい」と松村謙三先生に私は激励されたことがあります。

日本での第二次世界大戦はエネルギーが無くて始まったんです。ところが今、再生エネルギー100%でやっていこうとしている。それでは農業もそのエネルギーを使おうじゃないかということ。今、この辺の田んぼも圃場整備、これも松村謙三先生の意気込みですよ。農業基盤整備、福光の刀利ダムが松村先生のものすごい情熱で出来た。そして私も担当した基盤整備ですが、昔の田んぼはデコボコで小さく、機械も入らなかったが今、それを整備し大きくなった。そこで米作りに4ヶ月だけの使用では勿体無いのではないかと、12ヶ月使えば食料は3倍になります。そう思いませんか。再生エネルギーの熱を使えば冬でもできます。今37%の食料自給率が100%になるのではないかと?私はホラを吹いているんじゃないですよ。松村先生の精神を皆さんに聞いてもらっているのです。農地を遊ばせておいてはいけません。都会では150階の建物があり、昼も夜もなく地面を150倍使っています。だから災害のない形の農村工業、農作物工場を作ってもいい。今LEDなどいろいろあり、水は雪や雨で沢山あるのでなんとでもできる。

松村先生は国民に食料を、健康な国民であるべき、と思われていた。私の思い、働いた者は働いただけの甲斐があるような、努力して儲けた、努力した甲斐がある、それが同一賃金じゃないだろうか、今のような形でやっていると商売人にうまいことやられてなんにも出てこない、一部の悪徳商人にやられてこんなことになっていく。農家をいじめないで下さい。自分たちの食料を自分たちで首切ってるんだよ。これを申し上げまして私の卓話といたします。ご静聴ありがとうございます。

(今回の会報担当・谷村修基)

- ★ニコニコボックス 10/26 山田孝副委員長
- 北島君 大島孝様をおむかえして。本日は有難うございます。
  - 古瀬君 大島様、本日卓話よろしくお願ひします。
  - 中田君、牧 君/大島様、坂田先生、ようこそ。
  - 谷口君 大島孝様、本当にご無沙汰しております。お元気なお顔を見て嬉しく思います。宜しくお願ひします。
  - 木村君 愈々干柿の準備です、皮おきが始まる予定。隣の森大先生に叱られながら、例会を迎えております。
  - 松本君 大島様をお迎えして。よろしくお願ひいたします。
  - 木勢君 ゴルフもコンペが多くなってきました。コロナの感染減少が続きますように。
  - 岡部君 大島様、本日は卓話を戴きます。有難うございます。
  - 安居君 最近、Zoomでの例会参加ばかりしていましたが、今日は出席できました。しかし、Zoomのありがたみも良くなりました。遠方へ行ってでも安心です。
  - 尾山君、山田孝君、吉田君/大島孝様、ようこそ。
  - 渡邊君 大島孝様をお迎えして、卓話よろしくお願ひします。
  - 松村君 今日は大島さんが祖父の思い出話を聞かせていただけるそうで、ありがたく懐かしく拝聴します。祖父の没後50年記念フォーラムが11月14日JA中央会館で開催されます。どなたでもお越しください。
  - 山田喜君 大阪の友人より昨日TELあり「コロナ明け。明けましておめでとうございませぬ。」「今晩は飲むぞ」と言うことでした。今日、朝TEL無し、多分グラグラ!!!幸福なひとときでしたネエ。飲める方は羨ましいです。
  - 荒井君 大島孝様お久しぶりでございます。卓話楽しみです。
  - 大西君 「県発明と工夫展」に、息子の作品シリンドリク機構(特許出願中)が、日本弁理士会会長賞を頂きました。大島様の卓話楽しみです。
  - 森 悦君 大島孝様、卓話よろしくお願ひします。近頃の政治で財政規律が重要なのか、MMT理論なのかよく判らなくなってきました。私は財政規律が重要だと思いますが!
  - 井沢君、森 雄君/都合により早退します。